

対応方針（2025プラン）の変更（岩国病院）

病床機能報告における病床数（7月1日時点）			対応方針（2025プラン）の内容					備考 （対応方針の実施予定時期等）
機能区分	R4 現在	R7 予定	病院の特徴・役割	今後の方針	機能別病床数（2025）			
					機能区分	現行	変更後	
高度急性期			・急性期機能と慢性期機能を担う。	・地域の急性期病院（医療センター、医師会病院）における加療を経て、自宅に戻るまでの対応を中心とした医療を提供していく。 ・医療の提供において、リハビリ機能や栄養面でのケアを付加価値として強化することで、地域の要請に応えたい。 ・将来の医療需要を見据えるとともに、医師・看護師等の限られた医療資源を最大限効率的に活用するため、急性期病床の一部について、不足する回復期病床（地域包括ケア病床）へ転換する。 なお、当圏域における産科・分娩数の状況や地域の医療提供体制等を踏まえ、産科については、基本的には現状の10床を維持する方針である。	高度急性期			令和6年4月以降実施予定
急性期	41	41			急性期	41	<u>10</u>	
回復期					回復期		<u>31</u>	
慢性期	19	19			慢性期	19	19	
休棟					休棟			
合計	60	60			合計	60	60	